

金沢大学との連携による英語指導力の向上に向けた小中学校の新たな取組

資料2-2

英語教育強化拠点地域事業におけるこれまでの取組・成果（H29～30）

◆新学習指導要領を先取りした授業づくりの実践・研究

- H29指定：小松・内灘・七尾
- H30指定：川北・白山・輪島 計6市町18校

[小] 時間の確保を工夫し、全面実施同様の授業時数を設定
(3・4年生：35時間 5・6年生：70時間)
文科省作成の英語新教材を効果的に活用した授業の実践
(リスニング・インタビュー等)

[中] 授業における教員と生徒との英語でのやり取りの増加
ALTとの会話や外国人との交流等、英語を使って話す機会を設定

[共通] 小中連携による英語学習の円滑な接続
(児童生徒及び教員の交流、相互授業参観、授業整理会、学習到達目標の検討等)

ALTとの授業



デジタル教材を活用した授業



小中学校児童生徒の交流



外国人との交流



英語教育強化拠点地域事業における金大と連携した新たな取組（R1）

⇒ **新学習指導要領へスムーズに移行できる体制整備を強化**

<I 「話すこと[やり取り]」に関わる指導の充実（指導方法・評価方法の確立）>

- 準備や練習なしに即興的に伝え合い、対話を継続・発展させること、短時間でまとまった内容を伝え、質問に应答すること
- 外国人等と英語を使って交流する機会を設定し、英語で話すことへの意欲やその場で対話する力を高めること

①拠点校による連絡協議会の開催（対象：拠点校教員、市町教育委員会）[4月]

- 金大教授による講話・指導助言
 - ・新学習指導要領の趣旨を踏まえた指導のあり方
 - ・英語教育強化拠点地域事業のこれまでの成果とR1年度の方向性

②拠点校における実践研究の深化・発展

ア 金大教授の学校訪問による指導助言（教員の指導力向上）[4～11月]

- 授業を参観し、授業改善に向けた指導助言
- 対話的な活動の充実（即興での情報交換・考えの伝え合い、対話の継続・発展）
- 学習した語彙や表現を実際に活用する活動の充実
- 評価規準の設定や適切な評価方法の工夫

イ 金大学生・留学生の授業参加による英語でのやり取り（児童生徒の話す力向上）[4～11月]

- 英語を使用する環境の設定（英語を用いたインタビュー、ディスカッション等）

<II 実践研究成果の県下全域への普及・啓発>

①英語フォーラムの開催（対象：小中学校教員、市町教育委員会）[11月]

- 金大教授のコーディネートによるパネルディスカッション
- 拠点校教員がパネラーとなり、取組・成果を発信
内容例) 小中連携の取組、校内体制づくり、効果的な指導方法、評価方法 等

②小中教員向け リーフレットの作成・配付 [1月]

- 金大教授からの指導・助言
- 指導の留意点及び授業構成・教材・評価方法の事例を掲載

③優れた指導法・効果的な指導実践事例の情報共有 [随時]

- 各学校が教員専用サイト（スマートスクールネット）へ掲載